

「観光立県長野」再興計画の特色

1 高い目標設定と分かりやすい行動目標

将来像の実現に向け、4つの基本的な達成目標を設定
目標の達成に向け、身近で分かりやすい取組のスローガンを提示

県内の観光サービスに対する満足度	50% 以上	⇔	「もう1か所」 観光してもらえるように
観光消費額	4,000 億円 以上		「もう1泊」 宿泊してもらえるように
観光地利用者数	1 億人 以上		「もう1コイン(500円)」 使ってもらえるように
外国人宿泊者数	37 万人 以上		「もう1度」 訪れてもらえるように

2 重点プロジェクトの設定と主体別の取組の具体的な記載

低迷する長野県観光に歯止めをかけ、長野県観光の弱い部分の早急な補強と長野県ならではの観光魅力に磨きをかけるため、早期かつ重点的に取り組む8つの重点プロジェクトを取りまとめ、県、市町村、観光関連団体、観光事業者、地域住民など多様な主体が適切な役割分担のもと、互いに協働して施策を一体となって効果的に展開できるよう、それぞれの取組内容を具体的に記載

1 「うまいっ！信州」 創造プロジェクト	(1) 地域食材を利用した特色あるメニューづくりと料理提供の推進 (2) 原産地呼称管理制度認定品など「食」のブランド化の推進による観光消費の拡大 (3) 観光事業者の協力のもと、積極的な情報開示などによる「食」の安全性・信頼の確保
2 「笑顔・あいさつ・おもてなし」 実践プロジェクト	(1) 大学などと連携した観光事業者のホスピタリティの向上や、子どもからお年寄りまで全県挙げたおもてなし気運の醸成 (2) 観光旅行者の生の声を受けとめ、観光施策やサービスの改善に役立てるとともに、その取組状況をお知らせするなど適切なフォローアップの実施 (3) 観光施設などのユニバーサルデザイン化による、やさしい観光まちづくりの推進
3 信州の美しい景観 創造プロジェクト	(1) 観光地の廃屋対策など、良好な景観の保全・育成に向けた検討 (2) 自然環境や歴史的・文化的な観光資源を生かした美しい景観育成の推進 (3) 世界遺産登録に向けた地元市町村などの活動の支援 (4) 車窓からの景観やサンセットポイントなど魅力ある景観の情報発信
4 自然と人にやさしい旅プロジェクト	(1) 自然・文化芸術・食事・温泉などを活用し、「健康」をセールスポイントにした新たな観光魅力の創造と発信 (2) 「エコ心」を持っておもてなしを行う宿泊施設と連携した信州エコ“泊”覧会の展開 (3) 自然環境や歴史文化などを生かした新たな滞在型旅行商品の開発と流通 (4) ターゲットを明確にし、「環境と健康」や季節に応じた旬で魅力あふれる情報の発信
5 歩く・いざなう・つなが「道」プロジェクト	(1) 古道・街道観光、登山など、歩く「道」をテーマとした新たな観光魅力の創造と発信 (2) クルマ利用者をターゲットにした、サービスエリアや道の駅などでの情報発信とPR (3) 主要観光地から周辺地域や、インターチェンジから観光地などへと誘導する情報発信機能と道路網の整備による広域観光ネットワークづくりの推進
6 外国人旅行者「倍増」プロジェクト	(1) ターゲットを絞った戦略的な誘客宣伝活動と新たな国際観光市場の開拓 (2) 信州まつもと空港を利用した国際チャーター便の誘致 (3) 案内標識のピクトグラム化など、外国人旅行者が安心して旅行できる環境の整備
7 観光地再生プロジェクト	(1) 温泉地やスキー場など地域が一体となって策定した再生プランに基づく事業支援 (2) 観光事業者に対する、事業再生などの専門家による相談体制や人材育成の拡充など、経営力強化への支援
8 「エリア10」観光振興プロジェクト	(1) エリア内の観光関係者の協議の場の設置など、連携強化と計画のフォローアップ (2) エリアが主体的に取り組むソフト・ハード両面の観光振興策への支援 (3) テーマ別の広域観光ルート開発など、エリアや県境を越えた多様な連携の推進

計画の推進体制

計画の推進と役割分担の基本的な考え方

県、市町村、観光関連団体、観光事業者、地域住民など多様な主体が、適切な役割分担のもと互いに協働し、施策を一体となって効果的に展開する。

(1) 県の役割

市町村、観光関連団体、観光事業者、地域住民など自主的で主体的な取組を支援し観光に関する共通の目標と認識のもと、相互に連携して協働できるよう総合調整を図る。

観光交流を担う人材の育成や国際観光の振興など全県的な事業展開が必要な施策を推進する。

県内各地域や近隣県、国と関係団体との連携を強化し、広域観光の推進に取り組む。

(2) 信州・長野県観光協会の役割

マーケティングの発想に立ち、戦略的で広域的な旅行商品の造成、販売、広報など営利に結び付く誘客宣伝活動の中心的役割を担い、その実践に努める。

会員である市町村や観光事業者などと連携を密にし、観光振興に関する取組への支援と、民間感覚を活かした柔軟でスピーディな事業展開に努める。

(3) 観光事業者、地域住民、市町村などの役割

観光事業者

- ・ 自らの企画力と経営力を高め、観光旅行者の多様なニーズに的確に対応した快適なサービスと環境を提供し、顧客満足度の向上に努める。
- ・ 他産業との密接な連携のもと、魅力ある観光まちづくりに努める。

観光関連団体(市町村観光協会、経済団体等)

- ・ 観光情報の発信、観光旅行者の誘致、受入れ態勢の整備などに努める。
- ・ 行政や業界の枠を超えた連携を図り、県や市町村、観光事業者などが実施する観光振興に関する取組への協力・支援に努める。

地域住民、NPO、ボランティア

- ・ 一人ひとりが地域に対する理解を深め、地域への愛着と誇りを大切にし、旅行者を温かく迎え入れるように努める。
- ・ 地域における観光振興の取組に主体的に参画し、魅力ある観光まちづくりに努める。

市町村

- ・ 観光事業者や地域住民との連携を図り地域の取組に対する支援や調整に努める。
- ・ 地域の魅力ある観光基盤などの整備、地域相互の連携による広域観光に努める。

大学など

- ・ 観光を担う人材の育成、観光事業者等の知識や能力の向上への協力に努める。